

大川原

ライフ

LIFE ⑪

2020年8月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

新人職員に聞いてみた その②

こんにちは 6月号同様、大川原で暮らす新人職員の木幡将之さんをご紹介します！木幡さんは大熊町の大野1区出身の23歳。この4月から産業建設課に配属されています。

現在は再生賃貸住宅に住み、週末にこだわりの食材をまとめ買いし、毎日自炊しているとのこと 大川原での生活については「外に出て人と交流できるイベントなどがあるといいですね」と、手際よく料理しながら答えてくれました

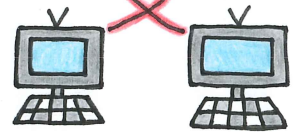
そんな木幡さんは「町に貢献したい」という思いが強く、高校1年生の時には役場職員になると決めていたそうです

大熊町の将来について「震災前の町に戻るのには難しいかもしれない。それでも町に戻りたい人や戻れなくても町に関わりたい人に響くような、チャレンジ精神のある先進的な町になってほしい」と、熱く語ってくれました



テキパキと野菜炒めを作っています

どこにいても繋がれる



木幡さんの趣味はオンライン上で友達とゲームをする「eスポーツ」 かなりの腕前で、海外大会で優勝したこともあるのだとか 「大川原にいてもネットで友達と繋って交流できる。場所は関係ないです」

大学時代はサバゲーもしていたとか



カッコいい！！

そう言ってくれたパソコンの画面には友達リストがずらりと並んでいました。土日の楽しみは大川原の「パソコン部屋」で、友達とオンライン対戦をすることだそうです

キーボードを全く見ないで操作しています



素早い反射神経も大事な！！

蛭いまりましたよ!

6月半ば、避難先の方から「蛭いるか? たまに見てくれない?」との電話を受け、始めました。蛭の観察! 雨のない、あたたかい夜、大川原在住の友人らと誘い、数カ所をぶらりと回りました。ちろん... 今年も蛭は飛んでいましたよ!!

私の写真では、緑の点になってしましますが、蛭はともきれいでした。
大川原に暮らし始めて、夕飯後にぶらりと蛭を風に行くと、という楽しみを知りました。という季節の感じ方はぜひにしてください。
と、つくづく実感する梅雨時です。

源氏も平家もいよいよ。

七太のいよいよです。

坂下ダムのあじさいも今年もきれいに咲いていました。

ダム周辺の花々は、散歩やジョギングをする人たちの目を楽しませてくれます。

